

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	南あわじ市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	南あわじ市文化遺産総合活用推進事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>重要無形民俗文化財については、平成23年度に保存継承計画を策定しており、これに基づき事業を実施する。</p> <p>(1) 淡路人形浄瑠璃の普及啓発及び継承事業（平成23年度～平成30年度予定）</p> <p>地域住民のための伝統文化、伝統芸能体験事業を実施するとともに、その発表の場を設け普及啓発を実施する。</p> <p>(2) 淡路だんじり唄の振興と研鑽と後継者育成事業（平成23年度～平成32年度予定）</p> <p>(3) 淡路だんじり祭事業（平成28年度～平成33年度予定）</p>			
6 実施体制			
<p>本事業の全体計画の企画、調整、事業の指導は南あわじ市教育委員会社会教育課が担い、また衣装や道具等の文化財の取扱等に関する指導、体験及び普及啓発事業についても調整をとる。具体的な事業の実施については、以下の団体が各事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)淡路人形協会（理事長：正井 良徳）：淡路人形浄瑠璃の普及啓発事業、後継者養成事業等を実施。 ・だんじり唄振興研究会（会長：柏木 大）：淡路だんじり唄の振興と研鑽と後継者育成事業を実施。 ・淡路だんじり祭実行委員会（委員長：細川 満）：淡路だんじり祭事業として普及啓発事業事業を実施。 			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 0 千円	平成29年度申請額： 4,938 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>(1) 市民の郷土の文化遺産の保存、次世代への継承等に対する関心や意識が向上し、市内の各地域における保存及び継承に関する活動のすそ野が拡大し、活性化が期待できる。</p> <p>(2) 少子高齢化が著しい地方の社会情勢下において、文化財保存団体や郷土芸能保存団体の後継者の獲得、人材育成に寄与することができる。</p> <p>(3) 市内各地域の文化遺産に触れ、体験する機会を創出することにより、その魅力を周知し市内への交流人口を増加させ、地域を活性化することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	無し		
事業概要：	無し		
事業概要：	無し		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
無し			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	南あわじ市教育委員会社会教育課（芸術文化・文化財課）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	淡路人形会館への年間入場者数			関連事業 :	⑦	
目標値 1 :	平成 28 年度 44,600 人 ⇒ 平成 33 年度 56,900 人					
設定根拠 1 :	平成28年度年間入場者数44,582人を元に、伸び率を年間5%と設定。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	淡路人形座の座員数			関連事業 :	⑤⑦	
目標値 2 :	平成 28 年度 17 人 ⇒ 平成 33 年度 19 人					
設定根拠 2 :	淡路人形座独自の演目を復活させた「復活公演」は施設の満員数であるため現状維持を設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
-	-	-	-	-		
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	淡路人形浄瑠璃等後継者団体への入部者数			関連事業 :	①②③⑥⑦	
目標値 3 :	平成 28 年度 2 人 ⇒ 平成 33 年度 10 人					
設定根拠 3 :	淡路人形浄瑠璃等への関心が高まり後継者団体への入会が見込まれるため設定。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 4 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	淡路だんじり祭への来場者数			関連事業 :	④	
目標値 4 :	平成 28 年度 10,000 人 ⇒ 平成 33 年度 50,000 人					
設定根拠 4 :	平成27年度の来場者数を元に毎年増加で設定。					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	子ども義太夫教室	実施団体：	公益財団法人淡路人形協会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度			
事業概要：	淡路人形浄瑠璃の伝統を守るためには、後継者を育成することが重要である。まず、後継者団体である福井子供会、市小学校郷土文化部、南淡中学校郷土芸能部、三原中学校郷土部の部員を増やす必要がある。そのために南あわじ市内の小学生を対象に子ども義太夫教室を実施し、6月から7月に6回程度稽古をし、夏休みに開催予定の淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会で成果発表をする。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	淡路人形浄瑠璃後継者団体への入部者数					
目標値：	平成 28 年度		2 人	⇒ 平成 33 年度		10 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業②：	さわり教室	実施団体：	公益財団法人淡路人形協会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度			
事業概要：	淡路人形浄瑠璃のファンや理解者を増やすために「さわり教室」を実施する。昔は全国各地に浄瑠璃に親しむ人がいて、淡路にもあちこちに稽古部屋があり、さわりの稽古も盛んにおこなわれていた。昔、家族が浄瑠璃の稽古をしていたことを懐かしむお年寄りも多い。淡路島に人形浄瑠璃の歴史があることが島民の記憶から消えないうちに浄瑠璃に親しむ人口を少しでも増やし、ファンと理解者を作るために6月から2月に淡路三市でさわり教室を実施する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	淡路で行われる素義会（アマチュアの義太夫の審査会）への出演者数					
目標値：	平成 28 年度		1 名	⇒ 平成 33 年度		5 名
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
名	名	名	名	名	名	
事業③：	淡路人形浄瑠璃後継者未来塾	実施団体：	公益財団法人淡路人形協会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	淡路人形浄瑠璃の伝統を守るためには、後継者の確保と育成が課題となっている。平成28年度の南淡中学校郷土芸能部の1年生部員は1名しか入部が無かった。「淡路人形浄瑠璃を傳承したい」、「後継者になりたい」という子供たちを増やすことを目的に、市内の子どもや保護者等を対象に普及啓発するために「淡路人形浄瑠璃後継者未来塾（仮称）」として講演会（講話）を実施する。プロとしての技術を磨く淡路人形座の座員に仕事に選んだ経緯や、後継者団体の部員が部活に入ったきっかけなどを聞き取り、実態を広く啓発することで淡路人形浄瑠璃に興味を持っていただき今後の後継者団体の新規入会者の確保を図る。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	淡路人形浄瑠璃後継者団体への入部者数					
目標値：	平成 28 年度		2 人	⇒ 平成 33 年度		10 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業⑦：	「賤ヶ嶽七本槍 左馬之助湖水渡の段」公演			実施団体：	公益財団法人淡路人形協会	
事業区分：	用具等整備			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度	
事業概要：	淡路の人形座うちの大座の一つ吉田傳次郎座の保有していた衣装や道具類を淡路人形座が引き継ぎ公演活動をしている。淡路人形座が「賤ヶ嶽七本槍 左馬之助湖水渡の段」を上演するための衣装と道具類の修理及び新調をする。					
評価指標区分：	・ 保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	淡路人形座の座員数					
目標値：	平成 28 年度		17 人	⇒	平成 33 年度 19 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	